

【地元をはなれたリーダーへ】

会議の内容や議題を前もって連絡する。

- ・ 送るだけでなく返信をもらい、意見交換する。
- ・ 大会が終わってからも事業レポートとして報告。

地元を離れていても参加しやすい環境づくり。

- ・ 魅力ある活動を目指す。

《 、 の他に、どうしても参加できない人、物足りない人》

「地元以外の県でスポ少の活動・リーダー活動に参加する」

- ・ 各県での受け入れの体制を整える。
- ・ 各県でリーダーの名簿を管理し、他県と連絡を取る。

[問題]

- ・ 都会などに集中して、元の県のリーダーの人数不足になるので地元の活動を中心の方がいいのではないかな？
- ・ 他県に行っても、自分の県の特徴や言葉づかいなどで他県の特徴・特色を壊す恐れがあり、意見が言えないのでは、楽しくないのではないかな？又、実力をはっきできない。

[解決策]

他県での交流会などの活動において、自分の県に他県の良さを伝えるとともに、互いの情報交換などをして、自分の県に持ち帰り、他県での活動を自分の県で生かす！

[まとめ]

夏休み、冬休みでの大会が多いためか、大会日程だけは地元に戻ってきやすくなっていると思われる。地元を離れたリーダーを支えるには、しっかりした事前連絡、事後報告をし、意見し合う事が大事だと思う。また、地元を離れているリーダーを気軽に参加できるような雰囲気づくり、環境づくりも必要なことであると思う。そして、それでもできない人は、他県での活動で自分の県に情報を持ち帰って活動することにより、地元を離れても、活動ができるのではないかな。